

平成 21 年度 能美市民満足度調査

1. 調査の概要

○調査目的

- 平成 18 年度に策定した「第一次能美市総合計画」に基づく各種施策に対する満足度と重要度を把握するとともに、定住意向や地域活動・行政運営などに対する市民意識を明らかにすることを目的とします。
- また、平成 17 年度及び平成 19 年度の調査結果と比較分析し、施策の進行管理に反映させます。

○調査の概要

- 調査対象：満 20 歳以上の市民 3,000 名
- 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）
- 調査方法：郵送（無記名回収）方式
- 調査期間：平成 21 年 10 月 30 日（金）～11 月 15 日（日）
※期日後 12 月 11 日までに返送されたものまでが集計に含まれています。

○配布回収結果

	配布数	回収数	回収率
市全体	3,000 (3,000、3,000)	1,174 (966、1,421)	39.1% (32.2%、47.4%)
根上地区	1,015 (1,024、1,038)	385 (299、459)	37.9% (29.2%、44.2%)
寺井地区	1,061 (1,056、1,026)	421 (330、521)	39.7% (31.3%、50.8%)
辰口地区	924 (920、 936)	350 (310、 427)	37.9% (33.7%、45.6%)
不明	—	18 (27、 14)	—

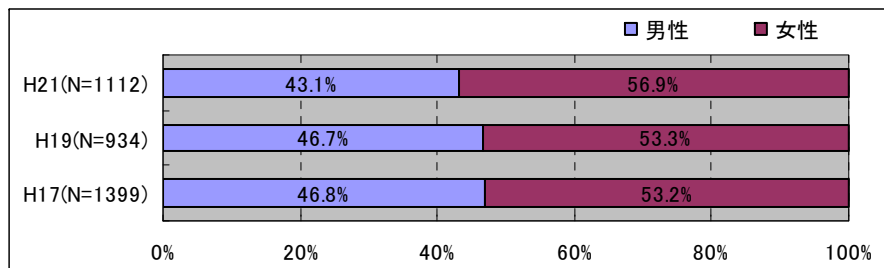
※（ ）内の数値は、順に平成 19 年、平成 17 年調査時の配布回収結果

2. 調査の結果

(1) 回答者自身について

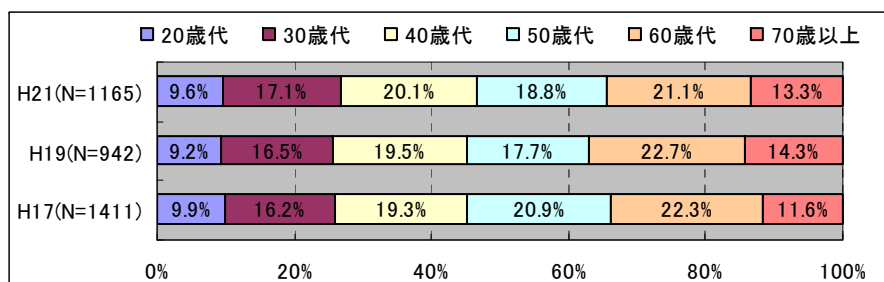
○性別

- 女性の割合がやや高くなっています。



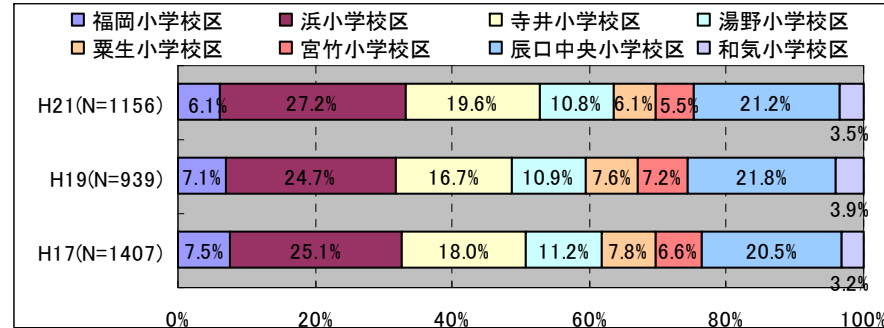
○年齢（年代）

- 前回調査と同様の年齢層の回答が得られています。



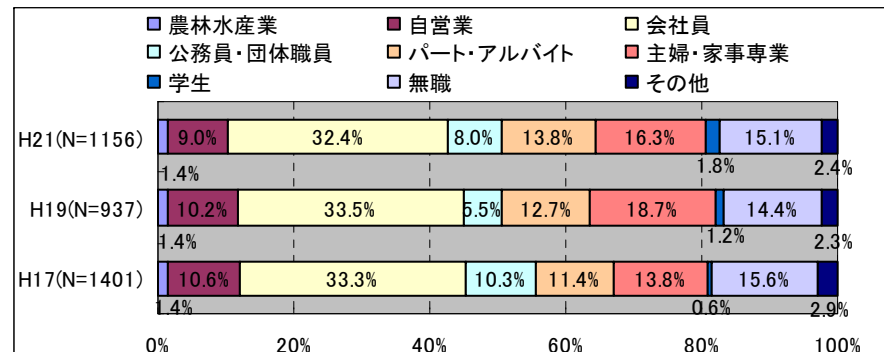
○居住地（小学校区）

- 「浜小学校区」が 27.2% と最も多く、次いで「辰口中央小学校区」21.2%、「寺井小学校区」19.6% となっています。



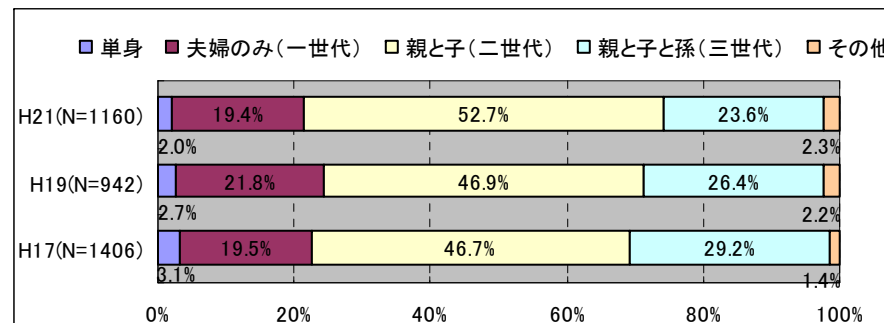
○職業

- 「会社員」が 32.4% と最も多く、次いで「主婦・家事専業」16.3%、「無職」15.1%、「パート・アルバイト」13.8% となっています。



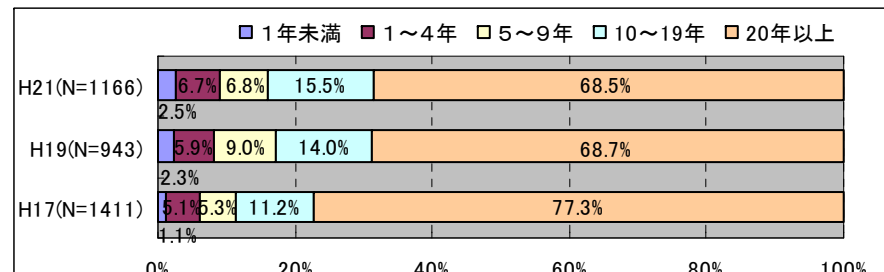
○家族構成

- 「親と子（二世代）」が 52.7% と最も多く、次いで「親と子と孫（三世代）」23.6%、「夫婦のみ（一世代）」19.4% となっています。



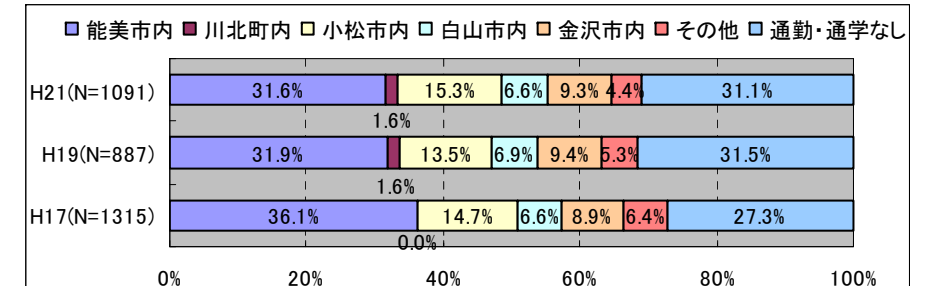
○能美市での居住年数

- 「20 年以上」が 68.5% と最も多く、次いで「10～19 年」15.5% となっており、市内に 10 年以上居住している回答者が 84% を占めています。



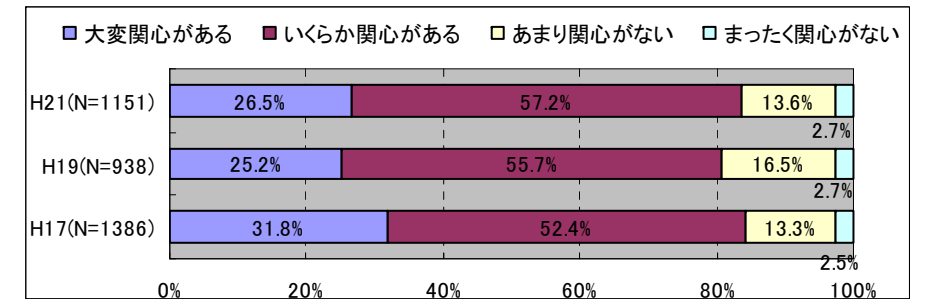
○通勤・通学先

- 「能美市内」が 31.6% と最も多く、次いで「小松市内」15.3%、「金沢市内」9.3% となっています。一方、「通勤・通学なし」との回答が 31.1% を占めています。



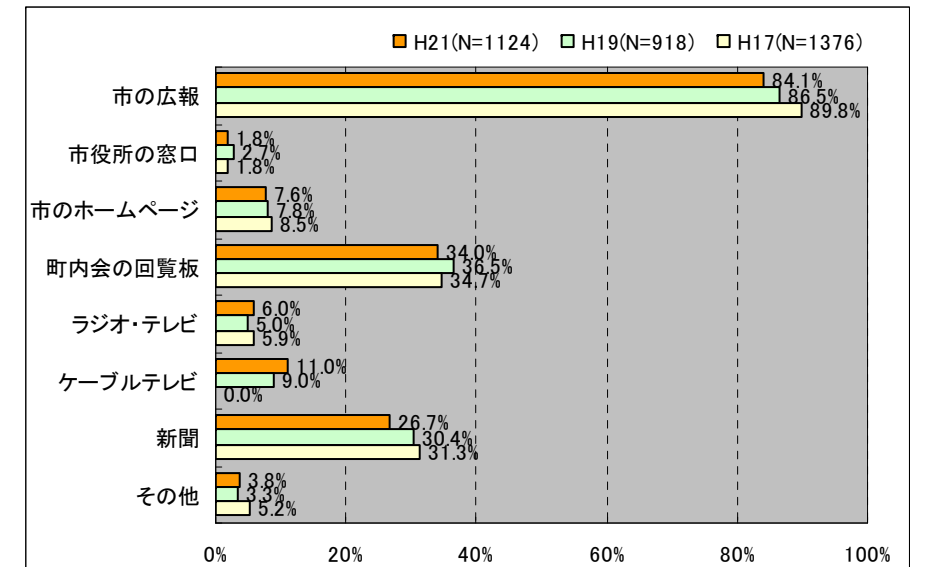
○市政への関心

- 「いくらか関心がある」が 57.2% と最も多く、次いで「大変関心がある」26.5% となっており、合わせて 8 割以上の回答者が市政に関心を持っています。



○市政情報の入手方法

- 「市の広報」が 84.1% と最も多く、次いで「町内会の回覧板」34.0%、「新聞」26.7%、「ケーブルテレビ」11.0% となっており、「市役所の窓口」「市のホームページ」「ラジオ・テレビ」は 1 割未満となっています。
- 「ケーブルテレビ」からの情報の入手が増加する一方、「市の広報」「新聞」からの情報の入手が減少しています。



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし

(2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

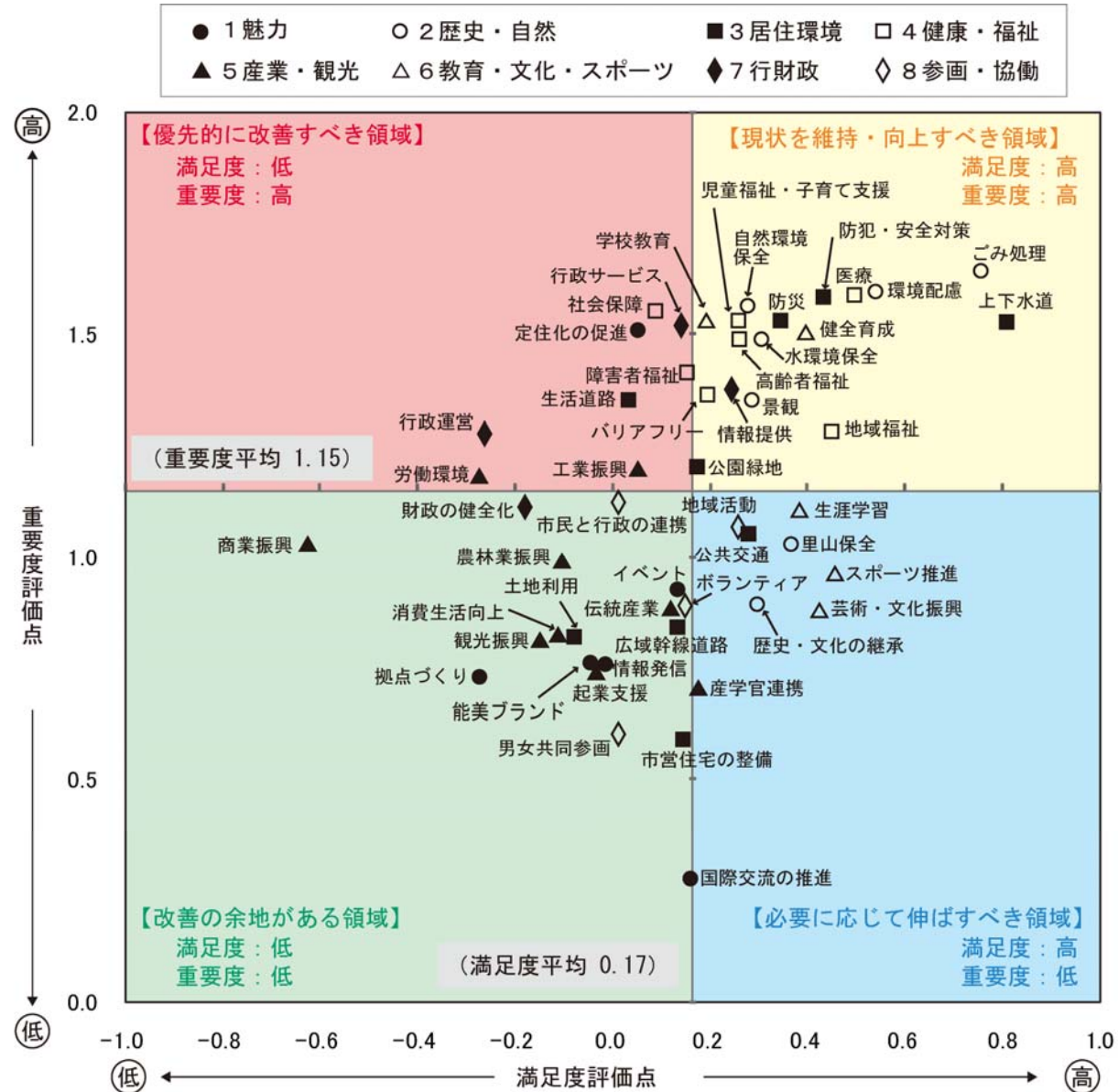
- ・第一次能美市総合計画で示している 51 の施策と施策全体の総合評価について、満足度と重要度の評価点を算出し、その相関を示しました。
- ・満足度が低く重要度が高い「優先的に改善すべき」項目は、「1-3. 定住化の促進」や「3-5. 身近な生活道路の整備」、「4-3. 障害者福祉の取り組み」「4-5. 社会保障の取り組み」、「5-3. 工業の振興」、「5-8. 労働環境の向上・支援」、「7-1. 効率的な行政運営の取り組み」、「7-3. 行政サービスの向上への取り組み」となっています。
- ・「2-2. 豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み」は、H17、H19 では優先的に改善すべき項目となっていました。が、満足度が上がったため、H21 には現状を維持・向上すべき項目となりました。

【評価点の算出式】

$$\text{満足度評価点} = \{ \text{満足である} \times (2 \text{ 点}) + \text{やや満足である} \times (1 \text{ 点}) + \text{やや不満である} \times (-1 \text{ 点}) + \text{不満である} \times (-2 \text{ 点}) + \text{わからない} \times (0 \text{ 点}) \} \div \text{回答者数}$$

$$\text{重要度評価点} = \{ \text{重要である} \times (2 \text{ 点}) + \text{やや重要である} \times (1 \text{ 点}) + \text{あまり重要でない} \times (-1 \text{ 点}) + \text{重要でない} \times (-2 \text{ 点}) \} \div \text{回答者数}$$

【満足度－重要度グラフ (H21)】



※図中の色、マークは右表の満足度及び重要度の評価点一覧に対応

【満足度及び重要度の点数一覧 (H21、H19、H17)】

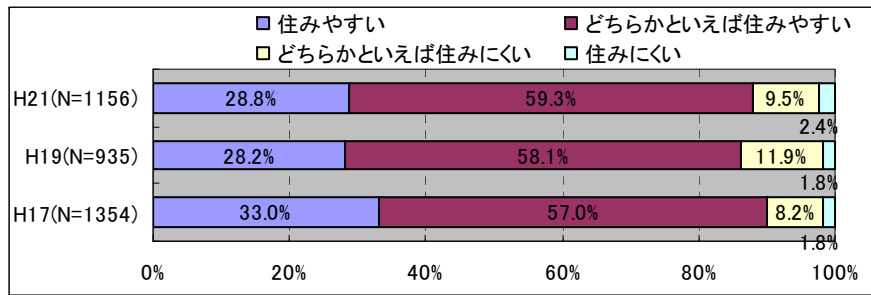
	評価項目	H21評価点		H19評価点		H17評価点	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 魅力	1-1.地域ごとの拠点づくり	-0.27	0.73	-0.28	0.72	-	-
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.14	0.92	0.15	0.77	-	-
	1-3.定住化の促進	0.06	1.50	-0.06	1.23	-	-
	1-4.“能美ブランド”づくり	-0.03	0.76	0.06	0.82	-0.12	0.76
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	-0.01	0.76	-0.05	0.83	-0.06	1.02
	1-6.国際交流の推進	0.16	0.28	0.21	0.37	0.27	0.54
2 歴史・自然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.30	0.89	0.26	0.80	0.33	0.75
	2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	0.28	1.56	-0.01	1.50	-0.01	1.22
	2-3.里山をまもり、活かす取り組み	0.37	1.03	0.09	0.92	0.05	1.09
	2-4.水環境をまもり、活かす取り組み	0.30	1.48	0.12	1.37	0.15	1.04
	2-5.環境に配慮した取り組み	0.54	1.59	0.24	1.58	-0.05	1.24
	2-6.ごみ処理対策	0.76	1.64	0.58	1.61	0.31	1.61
	2-7.きれいなまちなみ・景観づくり	0.29	1.36	0.03	0.83	0.22	0.72
3 居住環境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	0.17	1.20	0.01	1.09	0.27	0.85
	3-2.市営住宅の整備	0.15	0.59	0.16	0.40	0.16	0.19
	3-3.適正な土地利用の推進	-0.07	0.82	-0.17	1.03	-	-
	3-4.広域幹線道路網の整備	0.14	0.84	0.30	1.01	0.61	0.86
	3-5.身近な生活道路の整備	0.03	1.35	0.00	1.38	0.44	1.10
	3-6.公共交通網の整備	0.27	1.07	-0.08	1.01	-0.49	0.92
	3-7.上下水道の整備	0.81	1.53	0.69	1.43	0.51	1.40
	3-8.防犯・交通安全対策の推進	0.44	1.58	0.40	1.55	0.11	1.62
	3-9.防災対策の推進	0.35	1.53	0.36	1.53	0.11	1.61
4 健康・福祉	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	0.50	1.59	0.36	1.57	0.35	1.59
	4-2.高齢者福祉の取り組み	0.27	1.49	0.18	1.48	0.12	1.54
	4-3.障害者福祉の取り組み	0.16	1.42	0.17	1.34	0.06	1.45
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	0.27	1.54	0.19	1.55	0.09	1.56
	4-5.社会保障の取り組み	0.09	1.55	-0.20	1.54	-0.15	1.41
	4-6.バリアフリーの取り組み	0.20	1.36	0.12	1.23	-0.19	1.36
	4-7.地域福祉の取り組み	0.45	1.28	0.39	1.26	-	-
5 産業・観光	5-1.農林業の振興	-0.10	0.99	-0.15	0.88	-0.02	0.75
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	-0.63	1.03	-0.58	0.97	-0.66	1.09
	5-3.工業の振興	0.05	1.20	0.03	1.01	-0.02	1.00
	5-4.観光の振興	-0.14	0.81	-0.13	0.71	-0.19	0.76
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.18	0.70	0.04	0.57	0.03	0.73
	5-6.起業支援・産業連携	-0.04	0.75	-0.08	0.53	-0.17	0.79
	5-7.丸谷焼などの伝統産業の振興	0.15	0.89	0.06	0.74	0.12	0.82
	5-8.労働環境の向上・支援	-0.27	1.18	-0.24	1.02	-	-
	5-9.消費生活の向上への取り組み	-0.11	0.82	-0.23	0.88	-	-
6 教育・文化・スポーツ	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	0.19	1.53	0.03	1.60	0.10	1.51
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	0.40	1.50	0.14	1.52	0.26	1.28
	6-3.生涯学習の取り組み	0.38	1.09	0.37	1.01	0.31	0.84
	6-4.芸術・文化の振興	0.43	0.88	0.37	0.82	-	-
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	0.46	0.96	0.41	0.86	0.43	0.71
7 行財政	7-1.効率的な行政運営の取り組み	-0.26	1.28	-0.23	1.22	-	-
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	-0.18	1.12	-0.21	1.17	-0.25	1.22
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	0.14	1.52	-0.27	1.36	-0.29	1.15
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	0.25	1.38	0.04	1.31	-0.05	1.20
8 参画・協働	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	0.02	1.12	-0.04	1.12	-0.17	1.32
	8-2.町内会や校区などの地域活動	0.28	1.06	0.18	1.01	0.32	1.03
	8-3.ボランティアやNPO等への支援	0.13	0.86	0.15	0.81	0.07	0.85
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	0.01	0.60	0.06	0.68	0.10	0.49
平均		0.17	1.15	0.08	1.09	0.07	1.07
9	9-1.能美市における施策全体の総合評価	0.01	-	-0.06	-	-0.01	-

■ 優先的に改善すべき項目、■ 現状を維持・向上すべき項目、■ 必要に応じて伸ばすべき項目、■ 改善の余地がある項目 (【満足度－重要度グラフ】の領域の色に対応)

(3) 能美市に住むことについて

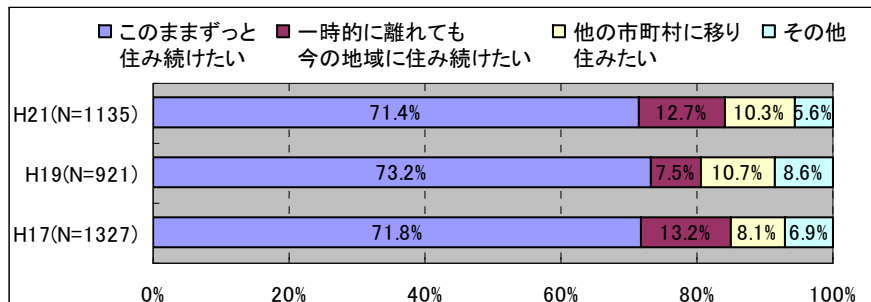
○能美市の住みやすさに対する意識

・「住みやすい」28.8%、「どちらかといえば住みやすい」59.3%であり、約9割の回答者が能美市は住みやすいところであると評価しています。



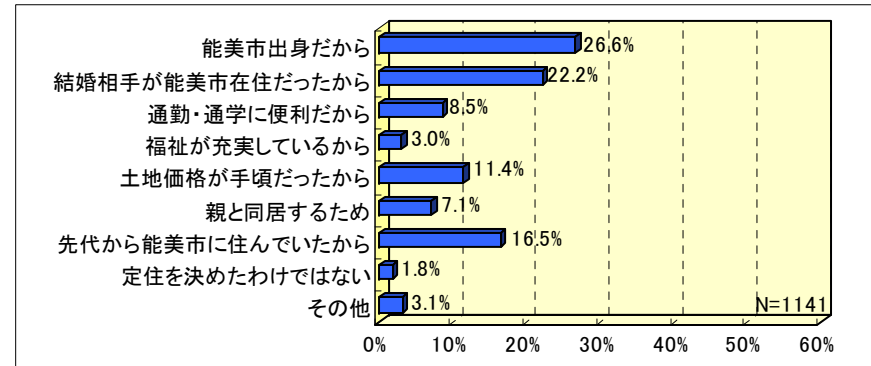
○将来的な定住意向

・8割以上の回答者が市内に住み続けたいと回答しています。



○能美市に定住した主なきっかけ

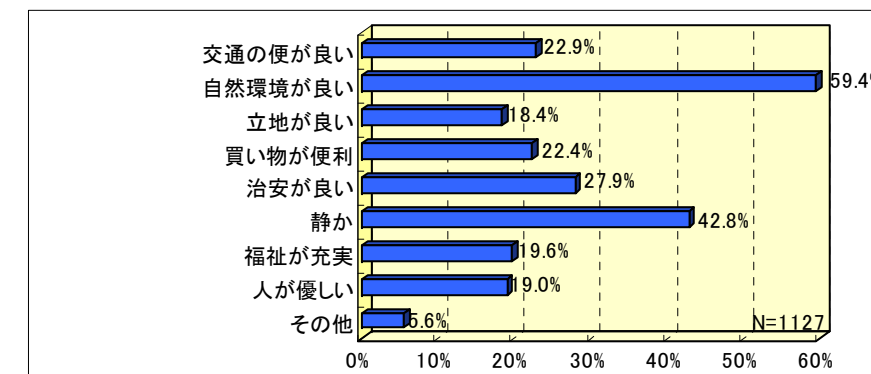
・能美市に家族がいることが定住の主なきっかけとなっています。



※H21に追加した新規の設問

○能美市に定住することの魅力

・「自然環境が良い」(59.4%)、「静か」(42.8%)といった点が、他の市町村に比べて魅力となっていると言えます。

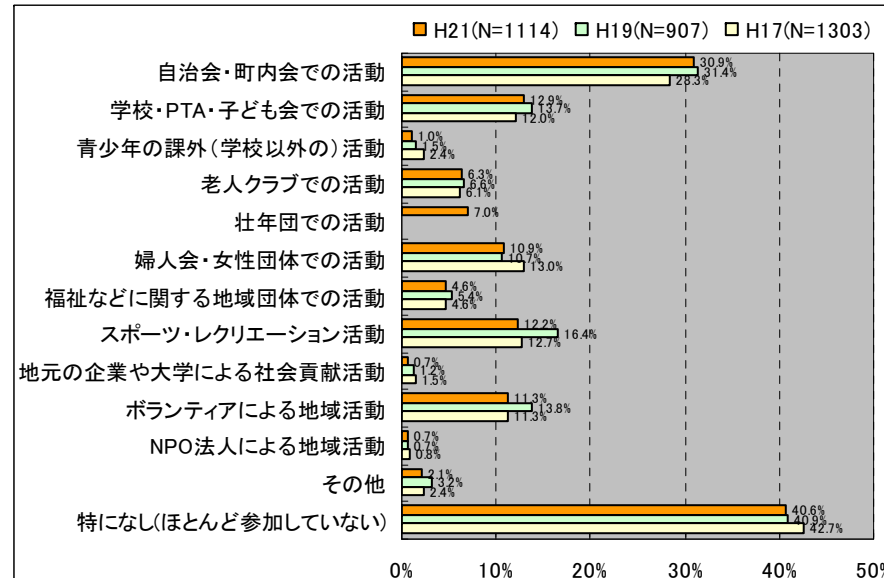


※H21に追加した新規の設問

(4) 地域活動および市民と行政の協働について

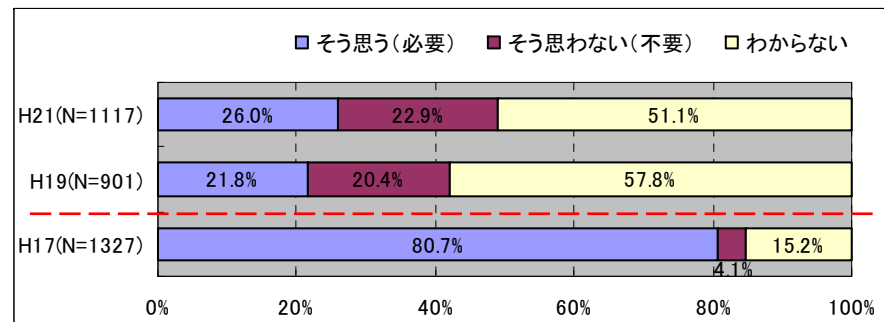
○地域活動への参加の状況

・「特になし」40.6%に対し、約6割が何らかの活動に参加しています。



○協働に対する現状の認識

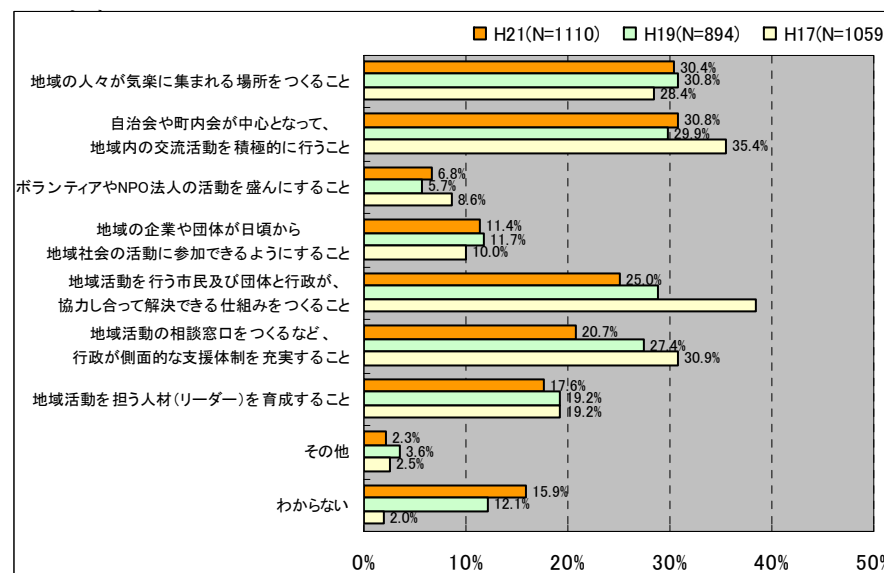
・「わからない」との回答が51.1%と過半数を占めていますが、H19と比較すると6.7ポイント減少しています。



※H17は、「協働体制は必要だと思うか」という設問を設定

○協力関係を構築していくために必要なこと

・地域の人々の交流に関する項目が各々約3割と多くなっています。
・行政との協働に関する項目の割合が、H17~H21にかけて低くなっている。

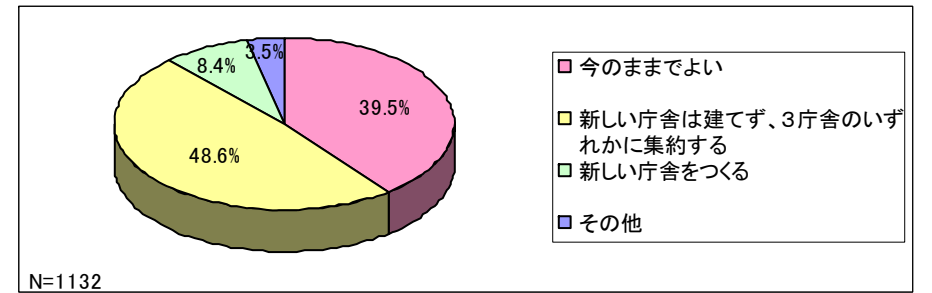


(5) 効率的な行政運営・インターネット接続環境について

※(5)以降はすべて、H21に追加した新規の設問

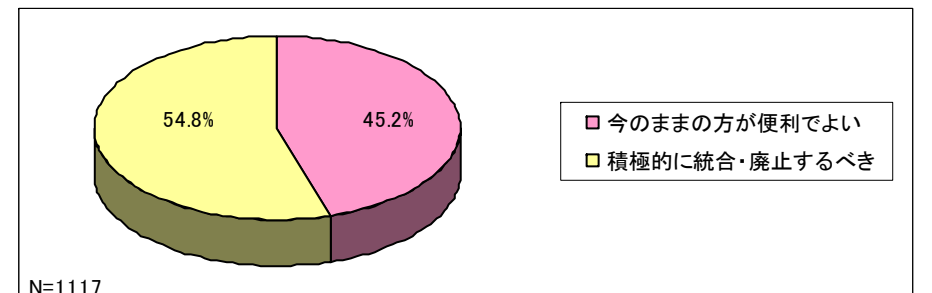
○市役所庁舎のあり方

・「新しい庁舎は建てず、3庁舎のいずれかに集約する」が48.6%、「今のままでよい」が39.5%となっており、約9割が新庁舎を建設しない方向性を望んでいます。



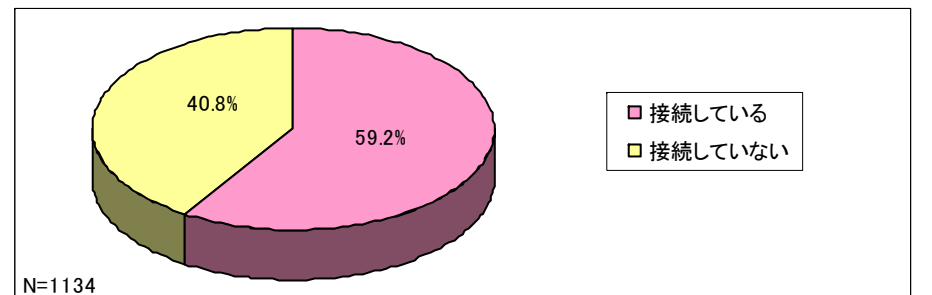
○公共施設の統合・廃止の是非

・「今のままの方が便利でよい」と「積極的に統合・廃止するべき」は、ほぼ半数に分かれましたが、後者を望む回答者の方がやや多くなっています。



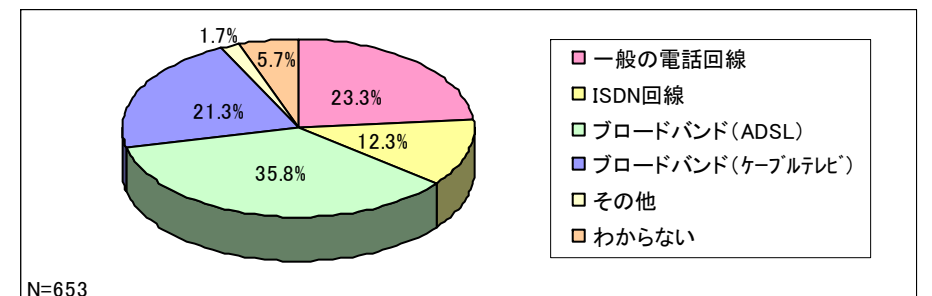
○自宅でのインターネット接続の有無

・「接続している」が約6割を占めています。



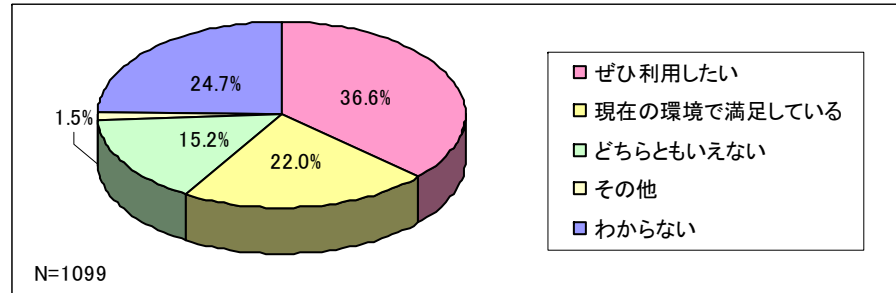
○自宅でのインターネットの接続環境

・「ブロードバンド(ADSL)」が35.8%と最も多く、次いで「一般の電話回線」23.3%、「ブロードバンド(ケーブルテレビ)」21.3%となっています。



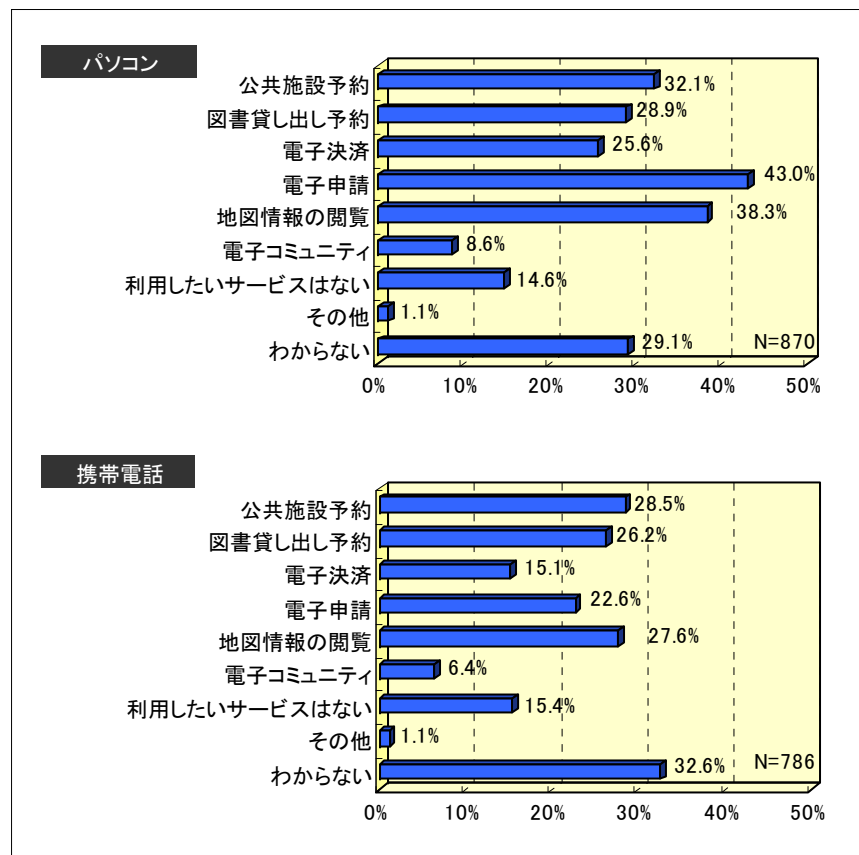
○高速通信網の利用意向

- ・「ぜひ利用したい」が36.6%と最も多く、「現在の環境で満足している」との回答は約2割に留まっています。



○利用したい能美市のインターネット（web）サービス

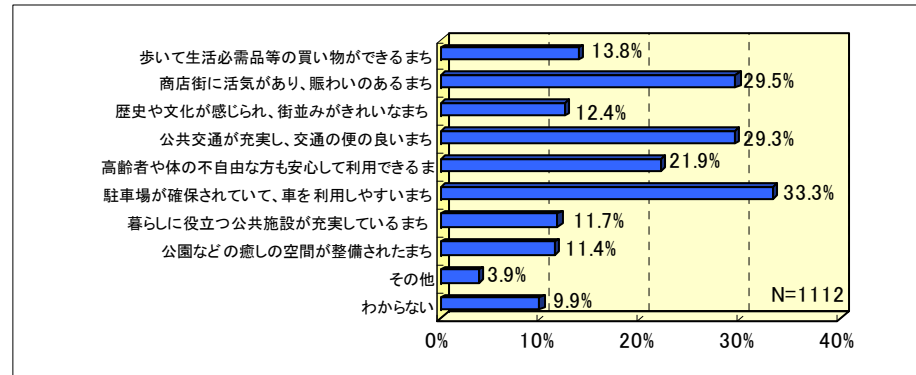
- ・パソコンでは、「電子申請」が43.0%と最も多く、次いで「地図情報の閲覧」38.3%、「公共施設予約」32.1%、「図書貸し出し予約」28.9%となっています。
- ・携帯電話では、「公共施設予約」が28.5%と最も多く、次いで、「地図情報の閲覧」27.6%、「図書貸し出し予約」26.2%となっています。



(6) JR寺井駅周辺まちづくりについて

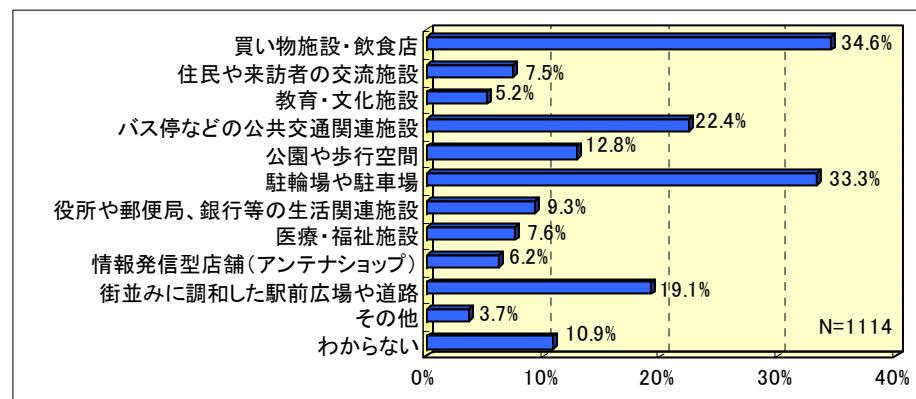
○JR寺井駅周辺のまちづくりの将来像

- ・「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」が33.3%と最も多く、次いで「商店街に活気があり、賑わいのあるまち」、「公共交通が充実し、交通の便の良いまち」が各々約29%となっており、交通の利便性が高い賑わいのあるまちがあるべき姿だと捉えられています。



○JR寺井駅周辺にあつたらよいと思う施設

- ・「買い物施設・飲食店」が34.6%、「駐輪場や駐車場」が33.3%と多く、交通の利便性が高い賑わいのあるまちづくりのために必要な施設と捉えられていることが伺えます。



○JR寺井駅周辺で実施されるとよいと思うサービス・ソフト対策

- ・「公共交通機関の利便性の向上」が40.3%と最も多く、次いで「魅力的なイベント(催事)の開催」29.6%となっています。

